



国土審議会政策部会国土政策検討委員会  
大都市圏戦略検討グループヒアリング資料



平成22年10月26日  
名古屋市

# 1. 産業・文化・自然の集積

## モノづくりのメッカ

### 日本全体の1割を占める経済圏

東海3県の人口	全国シェア8.8%
総生産	10.3%
県民所得	9.8%
民営事業所数	9.1%

### 製造品出荷額等は全国の2割

東海3県の製造品出荷額等	65兆円
全国シェア	19.1%

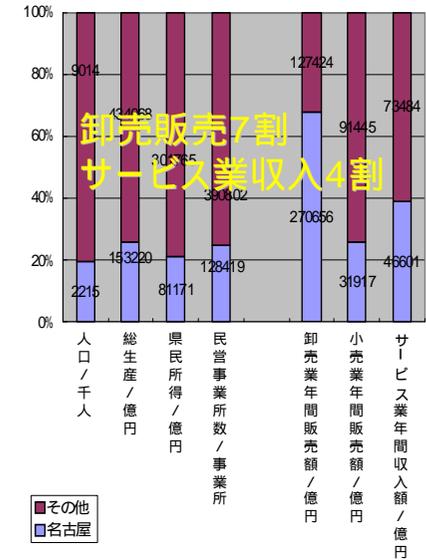
### リーディング産業の集積

- 自動車関連出荷額24兆円  
(愛知県、全国シェア4割)
- 工作機械出荷額1兆円  
(愛知県、全国シェア2割)
- 航空宇宙産業生産額4,600億円  
(東海3県、全国シェア5割)

名古屋圏(愛知・岐阜・三重)の経済指標全国シェア

指標	年次	単位	全国	名古屋圏	対全国シェア			
					5%	10%	15%	20%
総面積	平成17年	km <sup>2</sup>	377,915	21,562	5.7%			
人口	平成17年	千人	127,768	11,229	8.8%			
圏内総生産	平成19年度	億円	5,678,746	587,288	10.3%			
第1次産業総生産	平成19年度	億円	68,253	4,398	6.4%			
第2次産業総生産	平成19年度	億円	1,633,687	249,626	15.3%			
第3次産業総生産	平成19年度	億円	4,197,850	353,346	8.4%			
民営事業所数	平成18年	事業所	5,722,559	519,221	9.1%			
製造品出荷額等	平成20年	億円	3,355,788	641,253	19.1%			
卸売業年間販売額	平成19年	億円	4,135,317	398,080	9.6%			
小売業年間販売額	平成19年	億円	1,347,054	123,362	9.2%			
本社数	平成19年	社	2,647,369	221,193	8.4%			
輸出額	平成20年	億円	810,181	169,104	20.9%			
輸入額	平成20年	億円	789,547	91,297	11.6%			

名古屋市の対名古屋圏シェア



## 知の拠点

### 大学、研究機関の集積

市内大学数21校(政令市2位)  
名古屋大学特許登録数154件  
(全国3位)

- なごやサイエンスパークの整備
- プラズマ産業技術応用センター
- 理化学研究所
- (独)産業技術総合研究所中部センター

ノーベル賞受賞者4名輩出

なごやサイエンスパーク



## 魅力ある文化・観光資源

### 産業観光の拠点

- 名古屋ブランド、産業ミュージアム
- 産業技術記念館(自動車、紡績)
- ノリタケの森(陶磁器)
- 有松・鳴海絞会館(伝統工芸)
- リニア・鉄道館(鉄道) [H23.3開館予定]

### オリジナリティあふれる文化

- 豊かな歴史文化
- 三英傑ゆかりの地、名古屋城本丸御殿の復元
- 熱田神宮
- ユニークな街並み、文化
- 久屋大通公園(100m道路)、名古屋テレビ塔
- なごやめし(手羽先、みそかつ等)



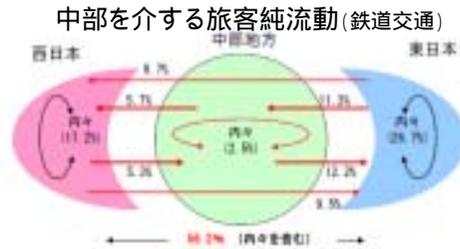
出展: 産業技術記念館HP

## 2. 人流と物流の要衝

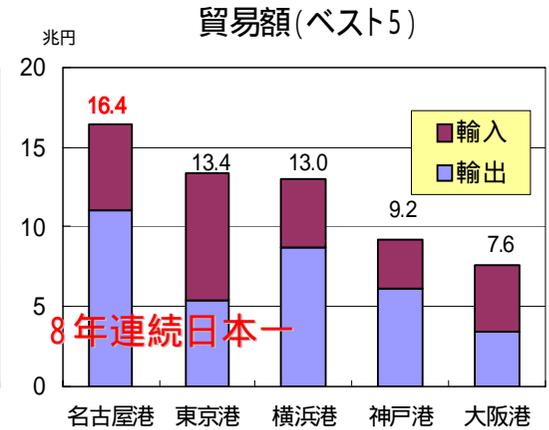
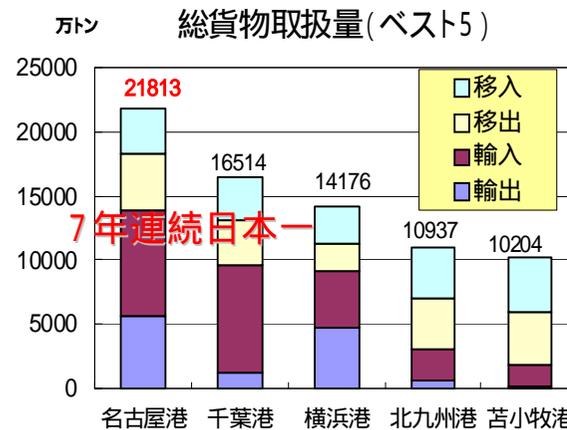
### 人流・物流拠点

名古屋港、  
取扱貨物量で7年連続日本一  
貿易額で8年連続日本一  
鉄道による国内の旅客純流動のうち、  
半分以上が中部を經由

「データで見る名古屋港（平成20年港湾統計実績）名古屋港管理組合」より作成



出典 国土交通広域連携中部会議「新まんなかビジョン」



### 陸・海・空ネットワーク

#### 道路ネットワーク

名古屋を中心に7本の放射  
(高規格幹線道路で東西南北へ)

東名高速道路、新東名高速道路  
名神高速道路、新名神高速道路  
東名阪自動車道  
中央自動車道  
東海北陸自動車道

2本の環状道路網が完成間近

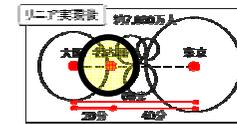
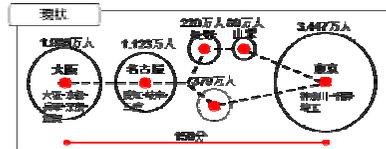
中部国際空港や名古屋港への好アクセス



#### 中部国際空港から都心、関東・関西へのアクセス

都心までわずか28分  
成田～東京 50分  
関空～新大阪 50分  
リニアで近づく関東圏・関西圏  
名古屋～東京 100分 40分  
名古屋～新大阪 50分 20分

7000万人の大交流リニア都市圏(各都道府県の人口と移動時間)



出典 リニア中央新幹線建設促進期成同盟会



### 3. 名古屋のめざす将来像

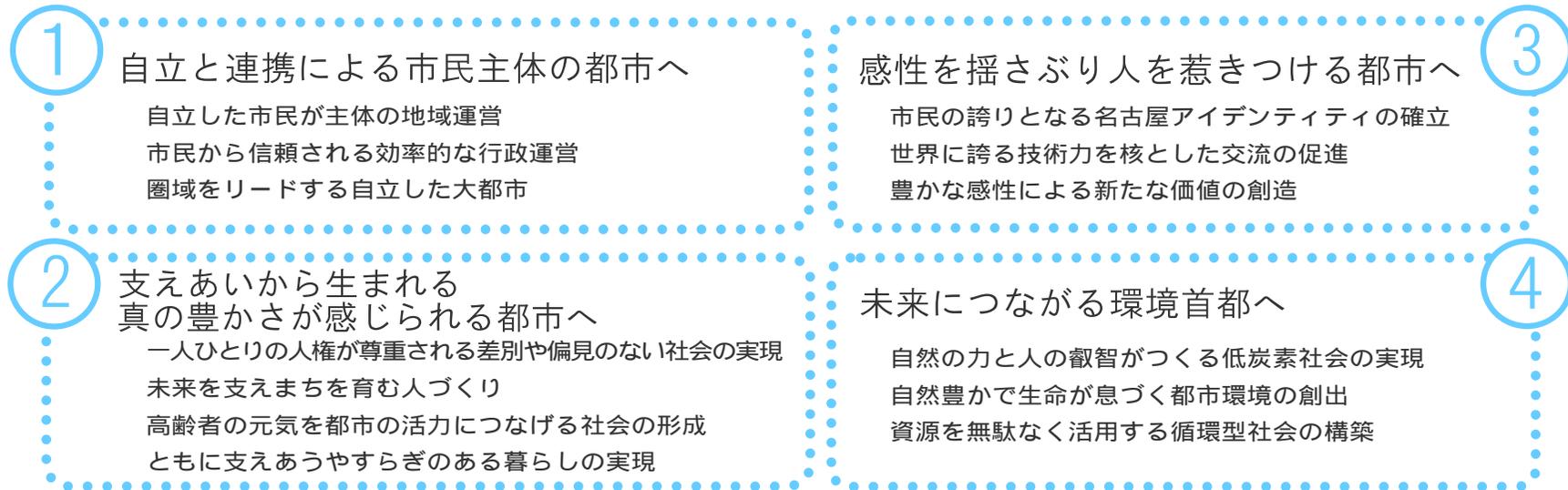
「名古屋市中期戦略ビジョン」

#### 目標



歴史に残る街・ナゴヤ

#### 都市運営の視点



#### 施策

3 2

### 世界の主要都市として、拠点機能・交流機能を高めます

#### 基本方針

多様な都市機能の集積・充実をはかることで、世界に誇れる都市をつくります

#### めざす姿

産業・文化・観光の主要な拠点として、世界規模での交流が活発に行われている

#### 施策の展開

主要都市にふさわしい都市機能の集積

文化・観光拠点の魅力向上

国際・広域交通ネットワークの早期形成・強化

#### 成果目標

指標	現状値	目標値	
		24年度	30年度 (10年後)
年間総延べ宿泊客数	624万人 (20年度)	660万人	720万人
中部国際空港の国際線旅客便就航都市数	28都市 (20年度)	30都市	33都市
名古屋港の取扱貨物量	218百万トン (20年)	220百万トン (24年)	234百万トン (30年)

## 4. 国際競争力の観点から特に重要なプロジェクト

### 名古屋駅周辺リニアターミナル構想の推進

#### 国際ビジネス機能の集積

- ・民間再開発の促進による国際業務中枢機能の集積
- ・2027年のリニア中央新幹線開業を見据えた鉄道間アクセス利便性の向上

#### ささしまライブ24地区の開発

- ・名古屋駅地区と臨海部を結び、商業・業務、宿泊、コンベンション機能を有する国際ビジネス交流ハブ拠点の形成



名駅周辺

### 名古屋都心交通まちづくりの推進

#### 豊かな道路空間を活用した先進的な交通システムの導入

- ・都心部において広い道路空間を活用することにより、賑わいのある高質で魅力的な都市空間の形成
- ・パーソナルモビリティなど先進的な交通システムの導入により、持続可能な交通社会を実現



名チャリ社会実験(コミュニティサイクル)

### 航空宇宙産業の振興

#### 航空機産業の国際競争力強化

- ・航空機部品の一貫生産・供給体制を構築
- ・国産ジェット旅客機MRJのシェア確保に向けた官民挙げたトップセールスの実施
- ・モノづくりを支える先端技術の研究開発機能の強化



三菱リージョナルジェット(MRJ)

### 臨海部のモビリティ産業情報発信拠点の形成

#### 名古屋市国際展示場の機能強化

- ・国際的MICE施設である名古屋市国際展示場の機能を強化
- ・都心エリアの国際ビジネス機能と連携し、世界トップクラスのモビリティ産業の技術力・開発力を情報発信



名古屋国際展示場

#### モノづくり文化交流拠点構想の推進

- ・高度なモノづくりの技術・文化を見て体感できるエンターテインメント性の高いオープンミュージアムを創出
- ・ビジネスと産業観光が連携した魅力的な交流拠点を形成



モノづくり文化交流拠点構想(イメージ)

### モビリティ産業を支える物流基盤の整備

#### グローバルな人流・物流を支える社会基盤整備

- ・中部国際空港の路線や便数を充実するとともに、二本目滑走路を早期に整備し、24時間運用可能な国際拠点空港化を図る。
- ・民間の資金とノウハウを活用した名古屋港の効率的な港湾経営をすすめ、港湾コストを低減



## 5. 大都市圏戦略に求められる機能・役割

国家からみた各圏域(首都圏・関西圏・中部圏)の役割の明確化



### 中部圏の役割

世界最先端のモノづくり技術を核とした国際交流圏の形成

### 役割に対応した都市機能の強化

#### モノづくり産業の中核機能強化

- ・航空機、次世代自動車等の次世代成長産業に関連するグローバル企業の立地促進
- ・ナノテク等の先端技術研究開発の強化
- ・国際イベント・コンベンション機能の充実
- ・陸・海・空の人流・物流ネットワークの集中整備、効率的な活用

#### 世界に誇るサステイナブル圏域の形成

- ・COP10の理念を継承した環境共生都市の発信
- ・モノづくり技術を活かしたスマートグリッドの構築
- ・超高齢社会に対応した都市構造への転換
- ・充実した道路空間など都市インフラの利活用
- ・圏域内の都市間連携の強化

### 期待される制度措置

- ・圏域の中核都市への高次都市機能の集積
- ・外資系企業等の立地に対する税制優遇
- ・敷地統合等による土地の高度利用など民間再開発の促進
- ・エリアマネジメントの推進へ向けたTIF、BID制度の創設
- ・道路空間等の有効活用に向けた各種規制緩和
- ・創造的・独創的な人材を育成する大学等の高度研究教育機関の誘致支援 など
- ・サステイナブル社会へ向けた取り組み
- ・緑地保全、再生のための税制優遇
- ・緑地の保全等を代償とした容積緩和制度の創設
- ・都心部の回遊性を向上させる利便性の高い交通システムの導入支援
- ・道路空間を自動車空間から歩行者やパーソナルモビリティなど人と環境に優しい空間への再配分
- ・独自の文化・風格の創出のための歴史的資産の保存・活用制度の充実
- ・都市間連携を支える新たな自治制度の創設 など

地域主権の観点から、策定プロセスにおいては、各圏域都市の意見を十分に聞きながら進めるべき

## 6. 広域的調整が必要な課題について

広域的課題	想定される解決施策
防災	帰宅困難者対策、緊急輸送道路の確保 流域一体での雨水流出抑制と土地利用の管理
環境	水源地の森林保全、閉鎖性水域の富栄養化対策 温室効果ガス・大気汚染物質削減、スマートグリッドの普及
交通	東海環状自動車道の完成、名古屋港の整備 中部国際空港の二本目滑走路建設
産業振興	企業・工場の誘致、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ 観光客誘致、研究開発機能の集約
都市機能の集積	人口減少に伴う既存の市街地、集落の再構築 大規模施設の広域利用



利害調整、施策推進のためのしくみづくりが必要

- ex.
- ・圏域の地域振興・経済振興施策を総合的に進行管理する機能
  - ・投資とその財源となる税収の再配分を行う利害調整機能
  - ・民間企業の競争的な経済活動をハードソフト面でバックアップする機能
  - ・地域や特定団体の個別の利害にとらわれない運営主体